

令和6年度

すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：2歳児クラス)

モニカ荏原中延園

Monica

テーマ

色

設定理由

日々の生活の中で、お茶を飲むコップ、お絵描きの画用紙、クレヨン、絵の具、リトミックのステック、スカーフなど、あらゆる物の色を自分で選び、自分はこれがいいと主張する姿が見られたため。

対象クラス

2歳児クラス・8名

活動の狙い

身の回りにさまざまな色があることに気づき、色を作り出す面白さを知る

キーワード

「どんな色になったかな？」

活動期間

令和6年10月～令和7年2月

活動回数

計4回

活動①

色探し

実施日

令和6年11月1日

活動内容

保育室、商店街、公園などで、どんな色を見つけることができるか。
見つけた色をチェックできるように、画用紙や折り紙を使い、色の見本をつくる。

色をさがしてみよう

令和6年11月1日
(金)
めろんぐみ
作成 下郡 睦

めろんぐみの部屋の中や散歩先にはどんな色があるのかを探してみました。
まずは、どんな色があるのかな?と色の種類を知る為に画用紙を使って色の名前を確認してみました。
普段お絵描きに使う色や、お茶を飲むコップの色は人気で、この色がいい!と取り合いになる場面もありました。

まずは部屋の中で色探しを行いました。始まるすぐに、身近な玩具を手に取り、「これもそう?」「あ、ここにも黄色があったよ!」と次々に手に持ち見せてくれました。

自分の服から色を見つけた後、腕を見て「これは何色だろう?」と疑問を口にする子もいて、「何色だろうね?」と保育者が一緒に考え始めると、「それは茶色だよ」と別の子が得意げに答える様子がありました。

戸外では、歩きながら地面の色がコンクリートからタイルに変化している事に気付く、嬉しそうに「これはオレンジ!」と言うと、「え!赤だよ!」と子ども同士で自分の感じた色の名前を言い合っていました。

また別の場面ではフラッグや装飾を見つけ、「緑があるよ!」「黄色も!」と指をさして言葉にしていた。



これもそうでしょ?



あれ?これは何色?



色の感じ方は本当に様々で、少し淡い色や、普段制作やお絵描きでも使用しない事が多い色は、子どもたちなりに考えた一番近い色(薄水色→青など)としてひとつくりに表現していました。

友達の好きな色にも興味を示し、それまで好きと主張をしていた色の他にも次々と好きな色が増えている様子でした。

次回は色水を使って自分の好きな色を沢山混ぜたらどんな色になるのかを確かめてみようと思います。

活動②

好きな色にいろんな色を
混ぜたらどうなる？

実施日

令和6年11月29日

活動内容

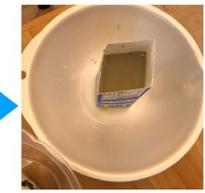
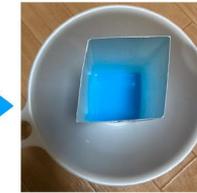
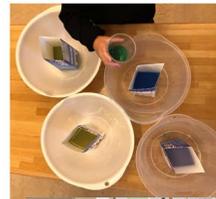
絵の具で作った色水を使用する
(赤、黄色、青、緑、白など)。
一人一色、一番好きな色をわた
して、さまざまな色を色水をつ
ぎ足し、混ぜていく。

どんな色になるかな？

令和6年11月29日
(金)
めろんぐみ
作成 下郡 睦



身の回りにどんな色があるのか色探しをしたので、今度は自分で色を作って楽しむことにしました。
あらかじめ用意した色水の中から、好きな色を1色選び、自分専用の牛乳パックの容器に入れました。
その後はコップを手渡し、好きな色を選び、自分で牛乳パックの容器へ注ぎ、色の変化を楽しみました。
次は何色にする？と声を掛けると、どれにしようか迷いながら慎重に牛乳パックの容器へ色水を注いでい
ましたが、慣れてくると段々手早くなり、ペットボトルからプラスチックのコップに自分で色水を入れ、更
に牛乳パックに注ごうとする姿も見られました。



初めの色水に自分で選んだ色水を入れた瞬間、「わあ！きれいな色にな
った！」と嬉しそうに声をあげ、その声に「見せて！」と友達が駆け
寄る姿がありました。
「今度は青を入れよう！」「私はピンク」と更にどんどんと色水をつ
ぎ足し、牛乳パックから色水が溢れそうになると、様々な色の色水を
少しずつ入れ、「まだ溢れてないよ」と、まだ続けて行きたいといっ
た様子を見せていました。
始めは色の変化を楽しみ、声をあげ喜んだり、友達の牛乳パックの
容器を覗き込んだりする様子があったのですが、容器に入れる色水が
半分を超えてくると、明らかな色の変化が起きなくなってきた為か、
色水をたくさん入れる事が目的となる子もいました。
次回は公園で見つけた自然物を使って色遊びをしたいと思います。

活動③

自然物（落ち葉や木の実など）から好きな色はできるの？

実施日

令和6年12月27日

活動内容

公園で拾った落ち葉や木の実からはどんな色を作ることができるのか。
散歩で自然物を拾い、ビニール袋と水を使い、手で揉んで色水を作る。

好きな色ができるかな？

令和6年12月27日
(金)
めろんぐみ
作成 下郡 睦



散歩に行くと、木の実や落ち葉を拾い、嬉しそうに見せてくれます。綺麗な色の葉っぱを拾うんだ！とバケツに集めたり、「これにしようかな？」「これもいいな！」と選んだ葉っぱを袋いっぱいに入れていました。

赤や茶色のパリパリの葉っぱが増えてきたねと話すと、「ここにもあった！」「こっちにも黄色がある！」「赤見つけたよ！」と次々に袋の中に入れ、あっという間に袋がいっぱいになりました。

その後、拾ってきた葉っぱを色ごとに分けてみました。一枚ずつ取り出し、色を確認して袋を用意していると、それに気付いた子ども達がそばに来て、分ける作業をしてくれました。

「小さいのあったよ」「これも？」と最後の一枚まで丁寧に分けてくれました。

散歩で集めた落ち葉や木の実、花びらを使って、色水を作り始めます。ビニール袋に入れ、水を足して手で揉み始めると、少し黄色くなってきた様子を見て、「なんか黄色くなってきた！」と言い、嬉しそうに見ていました。

又、赤い落ち葉のみを選んでビニール袋に入れ、一生懸命手で揉んでいた子も、「色が変わってきたよ！」と自分の色水も見たいといった様子で声をあげていました。

「たくさん揉むと色がどんどんかわっていくね」と保育者が声を掛けると、「もっとやる！」と更に時間を掛けて揉む様子があり、なかなか色の変化が見られず一度やめてしまった子も、友達の様子を見て、再び取り組む姿が見られました。



指で潰して色を確認し、自分だけの色水が完成しました。



活動④

自分で作った色を使って 絵を描いてみよう

実施日

令和7年1月24日

活動内容

自分で作った色水や絵の具を使って、画用紙に自由に絵を描く（筆を使用する）。

自分で作った色水を使って...

令和7年1月24日
(金)
めろんぐみ
作成 下郡 睦

落ち葉や木の実、花から作った色水を使ってお絵描きを始めると、まずは初めに水溶性の色鉛筆とクレヨンを見せると、「黒を使おう」「これとこれも使いたい」と次々に色を選び、画用紙いっぱい描いたり、中央に集中して描いたりそれぞれが満足するまで描きました。

その後、筆を使い、作った色水で滲ませていくと、描いた色が混ざり合い、どんどん広がっていききました。その様子に「わあ、見て！」と声をあげ、友達を描いているものを覗き込む姿もありました。



何度も筆を使い、色水で滲ませていると、溶け出した色鉛筆とクレヨンが筆に付き、色水の色が変わり始めた事に気付く子もいました。

又、色水を作った時には無かった匂いに気付き、ビックリしたのか「なんかくさい！」と自分の色水の匂いを確かめていました。

描き終わった作品は、後日貼り出していきたいと思っておりますので、楽しみにしててください。



「もっと描く」と言い、集中...

使用物

クレヨン | 絵の具 | 画用紙 | 筆 | 水入れ |
色水を入れる容器 (牛乳パック、ペットボトル)

テーマ：色

全体の振り返り

子どもたちが好きな色をテーマにして行ってきたが、回が進むごとにこのやり方で良かったのだろうか？と思うことが多かった。また、子どもの活動を誘導し過ぎてしまっていないか？しかし、きっかけがなければ何をしているのかも分かりにくくなってしまいうという懸念があった。

時期的にも開始したのが秋から冬にかけてだったので、自然物を使用するにはもう少し早くから取り組めたらまた違った展開になったのではと感じた。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋2-12-16 明和ビル7階
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ荏原中延園

〒142-0052
東京都品川区東中延1-6-2
TEL:03-6421-6740
FAX:03-6421-6741